



シルバー所沢

第114号

2011年4月25日

つどいの樹

発行：社団法人所沢市シルバー人材センター 編集/広報部会
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2
☎ 04-2928-8695/FAX 04-2924-0630
ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

▼もくじ▲

新公益法人?? 2
3頁

4頁Ⅱ中・長期基本計画の検討状況

5頁Ⅲ7頁Ⅱ部会・委員会報告

安全意識アンケート他

8頁Ⅲ9頁Ⅱ奮闘する就業開拓員、

訪問記、研修、講習

10頁Ⅲ11頁Ⅱみんなの広場・婚カツ

サークル訪問、健康一口メモ

東日本大震災に支援を 12頁

2600人の船頭さん

元気、明るさ、厳しさ

新理事長・森澤弘さん



右が森澤弘さん



かつて西武園ゆうえんちにあつたウォーターシユート。急な斜面を高速で下るボートの先頭に立ち、池に突っ込んだ瞬間、3歳もいつきに飛び上がり、舞い降りる船頭さん――。

昨年暮れに我がセンタ一の理事長に就任した森澤弘さんは、20歳前後の2年間、この船頭さんをしていました。抜群の運動神経と度胸の良さで、乗客の安全を守りながら、池に落ちることなく、華麗なジャンプを披露していました。

今年のシルバーの方針に「挑戦」を掲げた森澤さんの原点が、ここにありそうです。理事長に就任した後



(長谷川、イラスト阪口)

も、2月までは事業部会長も兼務し、また5年余務めた就業機会開拓創出員の経験を生かし、会員の活躍の場を広げるために奔走。さらに、福祉施設「峰寿荘」の事務管理にも携わり明るい笑顔で利用者をお世話していますⅡ写真。

「新しい仕事に立ち向かい、努力する。会員一人ひとりがセールスマンになり、情報を寄せてほしい」と願う森澤さん。その座右の銘は「一期一会」。「出会いを大切にしたい」の思いを胸に走る、2600会員の船頭さんです。

総会は6月29日に

平成23年度の定期総会は6月29日(水)午後1時から、所沢駅東口のくすのきホールで開かれます。例年より1カ月遅い開催になるのは、総会の大きなテーマになる新公益法人移行に向けて、定款の変更案作りが大詰めを迎えているためです。

新公益法人って何? Q & A

Q そもそも公益法人って何?

A 民法の規定で、学術や慈善事業など「営利を目的としない」法人のことで、設立の形態によって社団法人と財団法人があります。「社団法人所沢市シルバー人材センター」も民法上の公益法人です。

Q だったら今のままでいいんじゃないの?

A 民法は明治29年(1896年)制定で、時代にそぐわなくなったり、公益目的とはいえない法人が残っているなど、問題が出てきました。行政改革の流れの中で、何でもかんでも国が面倒をみるのではなく「民間が担う公共」という考えが生まれ、それを支える税制の改革などを柱と

「新公益法人」って何でしょう。シルバー事業や、私たち会員の活動にどんな影響があるのでしょうか。

1月にセンターで開かれた「公益法人制度改革」の講演会(講師・NR I 社会情報システム株式会社の兼永敏博さん)Ⅱ写真Ⅱや、内閣府、埼玉県のホームページなどを参考に、Q & Aにまとめました。(広報部会)

した「公益法人

改革関

連3法」

が平成20

年12月に

施行され

ました。



では、当センターも含め、民法上の

公益法人は平成25年11月末までに

①公益目的の認定を受け新しい公益法人に移行する②認定は受けず一般社団(財団)法人に移行する③解散する——のいずれかを選ばなければならぬのです。移行までは、民法上の公益法人は「特例民法法人」と

して、これまでの税制などの適用を受けます。

Q 移行は簡単なの? 一度認定されれば後は問題ないの?

A 大変です。一般法人の許可制は廃止され、審査は公証人と登記所が行い、登記出来ず。公益法人は「公益目的の認定」を受けなければなりません。認定の基準は「公益目的の事業を行うことを主たる目的」とし

「公益目的の事業の比率が50%以上」など17項目の条件を満たす必要があります。

認定後も、幅広い情報の開示や組織運営のあり方、法令の順守など、行政の監督や立ち入り検査を受けることになります。その結果によつては是正勧告や命令、認定取り消しもあり得ます。また理事や監事など一部の役員は、運営上の注意義務がより重くなり、場合によつては損害賠償の責任も生じます。

Q 大変だね。それでも新しい公益法人になるメリットはあるの?

A 旧公益法人にも税制上の優遇措置はありましたが、公益目的と認められれば法人税や固定資産税が非課税になり、寄付金制度など、さらに優遇されます。対外的にも「公益法人」を名乗れることで信用度が増

し、就業先の開拓にも有利です。行政の補助金も、公益法人であれば議会の理解も得られやすいでしょう。

財団法人である日本相撲協会が、文部科学省から「今のままでは、新公益法人への移行は認められない」と言われ大揺れなのも、八百長問題はもちろんですが、公益認定されないと大相撲興行そのものが成り立たなくなるという背景があります。

Q 「公益目的の事業」というのがキーワードだけど、具体的には?

A 「学芸及び科学技術の振興を目的とする事業」など23項目あり、さらに「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」と定義しています。当センターは「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」と「勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業」で認定申請することになります。

Q いつ頃、申請するの?

A 現在の定款を法令に沿って変更し、6月の定例総会で承認されれば、必要な書類を整え今年秋にも埼玉県知事に申請します。審査には半年程度かかるとみられますから、順調にいくれば24年度4月に新公益法人に移行できます。

シルバーの理念、再確認を

Q 新公益法人になったら、シルバー事業の未来は明るい？

A うーん、難しいですね。シルバー事業は、税の優遇措置を受ける分、行政の監督は今まで以上に厳しくなります。また新公益法人への移行に関わらず、シルバーを取り巻く環境は厳しさを増しています。不況というだけでなく、同じような事業を展開する民間企業が増えており、補助金を受け活動するシルバー人材センターの事業は民業圧迫ではないかと、国の事業仕分けで指摘されました。仕分けでは当事業の人件費、管理費など間接コストの削減が不十分だとして補助金の大幅カットを求めています。それでも財政難で行政の補助は減り続けています。

Q 会員の活動はどうなるの？

A 実際の就業状況はこれまでと大きく変わることはないでしょう。ただ、最近よく問題になる「偽装請負」などは、より厳しくチェックされるでしょう。就業先での行動は、より注意を払う必要があります（3～4段の「請負と派遣」参照）。

Q 暗くなっちゃうね。

A 法律が施行されて2年、移行を済ませた公益法人もまだそう多くはありません。でも、ここは前向きに「時代に合ったシルバー」に変身するチャンスと考えてはどうでしょう。

Q 新しいシルバーってこと？

A 最近の入会動機は「年金だけでは暮らせない」と、生活費稼ぎが目的の方が多くなっています。しかし、稼ぐだけなら手段はいくらでもあります。それでもシルバーを選んだのは「生きがい」「社会参加」という要素も大きいのではないのでしょうか。「迷ったら原点に返れ」です。行政頼みが難しくなり、民間企業との競争も強られる中で、シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」を会員一人ひとりが再確認し、独り立ちできる組織にしていけることが必要でしょう。人口35万人の所沢には、私たちが気付かない活躍の場が、もつとあるはずですよ。「公益法人」の信用を武器に、会員2600人の知恵を集めて「地域になくしてはならない存在」になれば、道は開けるのではないのでしょうか。

・請負の落とし穴・ ・派遣事業への道・

気が良くて腰の軽いAさん、大型小売店の商品陳列業務に就業しました。店長や売り場責任者とも気さくに話し信頼も厚いのですが、ある日、店長に「Aさん、店先の段ボールが乱れているので整理しておいて」と頼まれました。Aさんは快く引き受けたのですが……。

埼玉労働局がこの事実気付きました。「偽装請負です」。大型小売店は、業務の発注を取り止めました。県内のあるシルバー人材センターで実際にあった「事件」です。

「請負」とは「請負人が受注した業務を完成させ、発注者とその結果に対して報酬を支払う」ことです。ついでに「委任」とは「委任者が受任者に事務の処理を委任し、受任者がその業務を行ったことに対して報酬が支払われる」ことをいいます。施設の夜間管理業務などがこれに当たります。

いずれも持つて回った言い方ですが、民法に規定された定義です。つまり、請負、委任ともに、発注者や委

任者から「ついでに、あれをやって下さい、これも」などと「指揮命令」を受けることはできないのです。

そして、シルバー人材センターが受託する業務は、この「請負」と「委任」で成り立っています。新公益法人に移行すれば、法令順守をこれまでに以上に厳しく求められ「偽装請負」は当然、認められません。

でも、Aさんのような例はよく見られますね。では、どうすればいいのでしょうか。

解決策として当センターでも取り組みを強化している「派遣事業」があります。派遣事業では、いきいき埼玉が派遣元となり、当センターはその所沢市事務所として、会員を就業先に派遣する仕組みです。

派遣事業のメリットは①指揮命令を受けられる②就業先の多様化を図れる③労災に対応できる——などです。一方で、労災保険、有給休暇、事務管理などでいままで以上の費用が掛かり発注者のコスト高になる——などがあります。

就業実態に合わせ、就業先を増やすには、派遣事業も重視しなければなりません。会員も派遣事業への理解を深めて下さい。（広報部会）

*「いま、こうなっているの」 中・長期基本計画 *

検討状況で報告

事業部会

*指定管理者制度の取り組み

就業機会の拡大に直結する重要な課題です。民間企業との競合が激化しており、シルバーしか出来ない企画・立案提案等を行い、今後とも積極的に取り組んでいきます。

*魅力あるセンターの組織作り

①見える組織作り
入りたいシルバー、頼みたいシルバー実現へ、新しい試みを種々検討しています。風通しの良い、会員のための組織を目指しています。

*魅力ある紙面作り

唯一の情報紙として読んで頂けるよう、読み応えのある魅力ある会報紙作成に挑戦しております。

*会員意識の改革

会員としての心得を正しく理解し就業することが大切です。「つどいの樹」が、会員意識の改革向上にも役立つ存在を目指しています。

*研修会・講習会の受講について

正しい会員意識やマナーを身につけた会員、地域に密着した存在感あるシルバーであるために、各職種での研修・講習会を、煮詰めていきます。(部会長 陸浦孝之)

*研修会・講習会の受講について

正しい会員意識やマナーを身につけた会員、地域に密着した存在感あるシルバーであるために、各職種での研修・講習会を、煮詰めていきます。(部会長 陸浦孝之)

1800円。会費を見直す時期にきていると思われます。理解と納得を頂けるように、十分な審議検討をしていきます。(部会長 横田光雄)

広報部会

*魅力ある紙面作り

唯一の情報紙として読んで頂けるよう、読み応えのある魅力ある会報紙作成に挑戦しております。

*会員意識の改革

会員としての心得を正しく理解し就業することが大切です。「つどいの樹」が、会員意識の改革向上にも役立つ存在を目指しています。

*研修会・講習会の受講について

正しい会員意識やマナーを身につけた会員、地域に密着した存在感あるシルバーであるために、各職種での研修・講習会を、煮詰めていきます。(部会長 陸浦孝之)

会員安全就業推進委員会

*シルバー保険について

請負が原則であるシルバーには、労災保険の適用はありません。傷害や賠償をカバーするためにシルバー

保険があり、全会員一人あたり年間3000円弱の保険料を支払っています。厳しい財政事情から保険料負担の見直しを検討する必要がある。「安全は全てに優先する」が最重要ですが、万が一の備えも必要です。就業会員に一部負担をして頂く方向で審議しております。

*健康カードの導入

4月から、会員の健康維持・管理を促し、安全就業を行うために「健康カード」(名刺サイズ)を、全会員に配布しました。必要事項を記入の上、常時携帯することとし、就業相談には必ず持参してください。1年ごとに更新します。(委員長 肥沼金治)

就業適正委員会

*植木職の受注量対策

「植木の手入れを頼んでも、すぐには来てもらえないのよね…」という、もったいない話が街中に浸透していました。この対応策として昨年9月から、植木職希望者を募り50人態勢にしました。お客さま満足度を上げるために、常に技能の向上を図り、要望にも即応できる態勢を目指しています。また各班に安全委員

を置き、危険が伴う作業への安全対策を啓発しKYT(危険予知トレーニング)を浸透させます。(委員長 粕川博扶)

婦人部

*事務費率の上限について

現在の事務費率は7%。平成15年に2%上げて現在に至っています。近隣シルバーでは、10%が9市2町あります。厳しい雇用情勢の今、発注者の理解が得られるか。受注の減少も危惧されます。しかし、いづれは検討が必要になるでしょう。今から準備する必要があると考えています。(部長 吉松直子)

理事会

左記議案を審議、承認されました。

1月 正会員としての入会の承認を求める件 (各月 承認)

公益社団法人移行に伴う定款変更(案)について 承認

2月 公益社団法人移行に伴う財務規定変更(案)と役員報酬規定(案)の承認について 承認

3月 公益社団法人移行に伴う会費規定変更(案)の承認について 承認

なお毎月、部会・委員会の活動状況の報告がありました。

26000会員達成 就業機会の拡大へ

——事業部会報告

「会員の増強」について、事業部会の大きな課題とし会員数26000人を目指して取り組んできました。会員皆様のご協力を頂き、4月で2600人を超えました。

今後は「就業機会の拡大」を急がなければなりません。厳しい雇用情勢が続く中、種々の対策を講じています。例えば「シルバー人材センターは、経験豊かな知識と技能等を持った会員がこんな仕事をします」という内容のチラシを所沢駅前で配布したり、市内の10業種約150社にDMの送付、企業訪問などを実施しています。

センターを取り巻く環境は厳しさを増しますが、会員のご理解とご協力を頂き、今後も継続して手を打ってまいります。併せて皆様の貴重な

3月正会員数	
男	女
1,803	770
合計 2,573 人	
1～3月移動計	
入会者	退会者
59 人	55 人
賛助会員数 19	

情報等も、ぜひお寄せ下さい。森澤弘理事長が発表されたスローガン「挑戦」の一つ「一人ひとりがセールスマン」を事業部会全員、肝に銘じ実践・行動してまいります。

(部会長 横田光雄)

新事業部会長に横田さん

事業部会は3月16日に部会を開き、互選により、横田光雄さんが新たに部会長に就任しました。兼務していた森澤弘理事長が、理事長職に専念するためです。

継続希望と共助

裁定に悩み深く

——就業適正委員会報告

就業基準要綱に基づき委員会では、就業期限満了会員（自動車運転業務70歳、その他業務75歳）の就業裁定審議を行っています。対象となる方には、案内が届いたと思います。

会員が増える一方で、就業先の確保が難しい時代です。裁定は、公平・平等に、共働・共助の理念のもと、長期就業者の交代を促進し、ローテーション就業の推進を図っています。しかし、健康で働く意欲があり、人生経験の豊かさを生かして親切丁寧

に就業してこそ、発注者に受け止めてもらえ社会参加も出来ると、継続就業を望む声も多く、裁定に悩むこともあります。

一、発注者からの延長要望（双方に不利益が生じないように調整）

二、特殊技能（就業希望者が他に見当たらない）

三、家事援助サービス（お互いの信頼関係が生じてくる）

就業適正委員会の役割や裁定など現状にあった要綱見直しを行い、就業者には少しでも長く就業が出来る安心と魅力ある就業の機会を考えていきたいと思っています。

就業者のご理解とご協力をお願いします。（就業適正委員 鷲尾美朗）

役立つ講演、研修

積極的に取り組み

——婦人部報告

*女性会員の増員推進目標35%

*シルバー人材センター普及啓発

*女性会員相互の親睦

以上3点を年間基本活動の軸にして、活動しています。

昨年6月の「認知症サポーター養成講座」、11月に事業部会と共催した「シルバーの基本的な考え方と見

通しについて」の講演は、非常に反響が良く、再度の開催を希望する声が多くありました。

随時受け付けている古布回収活動も、社会のお役に立ち感謝されています。今年度も6月に「婦人部の集い」として研修会を、12月には「職場で対人関係を円滑にするには」と題して講演会を企画しています。婦人部も各部会、委員会と協力し、積極的な活動に取り組んでいきます。

(部長 吉松直子)

事務局よりお知らせ

人事異動（4月1日）

事務局長

木村一男

(新任)



指定管理者事業所長 森田勝治

(前事務局長)

西新井支所長

山川裕二

(前事務局次長)

※定年に伴う再雇用

多すぎる無関心層 広報活動を再検討

安全意識アンケート

会員安全就業推進委員会は昨年11月に、安全就業強化月間の一環として、会員の安全意識に関するアンケート調査を実施しました。

しかし、回答は3分の1しか集まらず、会員の意識の低さが改めて浮き彫りになり、自主・自立、共働・共助の精神が浸透していないなど、問題の解決が急がれます。回答者に限れば、安全意識は強いようですが、安全に関する広報活動が不十分であり、組織的に解決策を立案し、実行する必要があります。

回答率は31%でした！

9月末の会員2536人中、アンケートに回答したのは792人で、31%でした。簡単に記入して、投函するだけなのですが、残念ながら3分の2の方が無関心で、安全委員は「がつくり」しています。

シルバー事業の就業は「安全はすべてに優先する」ですが、知っていますかとの質問に対し、66%の方が

安全は あなた自身の

意識から 三富達也（柳瀬）

知っていると答えています。

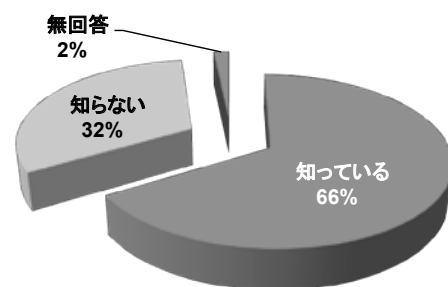
さらに、知っていると答えた会員に「就業中、途上で安全を意識していますか」と聞いたところ、76%の会員が「常に意識している」と答えています。やはり安全意識の高い会員は常に、事故を起こさないよう気を配っていることがわかります。

「11月が安全就業強化月間であることを知っていますか」に対し「知っている」と「知らない」がほぼ半分ずつで、安全委員会の広報活動が不十分であることを示しています。

昨年、一昨年に「所沢市シルバーで死亡事故が4件発生した」ことを知っていますかとの質問に対し、知らない会員が35%もいました。周知の方法、安全の啓発手段など検討し直すべきだと反省しています。

就業先や日常生活で「ヒヤリ・ハット」を経験したことがあるかを聞いたところ、就業先では23%の会員が、日常生活では61%の会員がヒヤリ・ハットを経験しています。高齢者であるシルバー会員の周りには、「常に危険がいっぱいある」ことを示しています。

安全はすべてに優先することを



所沢市が実施している「特定健康

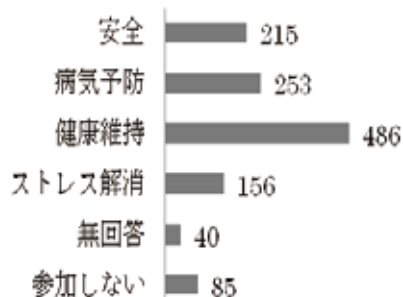
診断（診査）」を受けているかとの質問には、毎年受けている会員が73%で、受診はほぼ定着しているようです。安全委員会では会員の健康の維持・管理を目標に「特定健康診断の受診義務化」を検討していきます。

安全講習会については、過去2年間に参加したことがある会員はわずか35%でした。

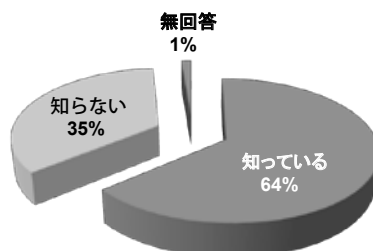
興味のある講習会は①健康維持②病気予防③安全④ストレス解消——の順でした。

安全委員会では、アンケートの結果を平成23年度の事業計画に反映させていきます。

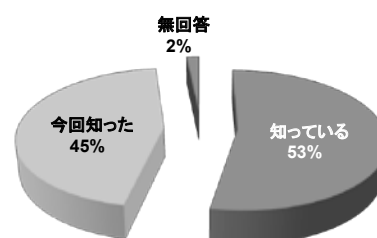
どんな講習会なら参加しますか



死亡事故4件発生を



安全就業強化月間を



平成 22 年度の事故発生状況

* 表の見方＝左から発生日、性別、年齢、事故の状況、結果

傷害事故＝計 14 件

4月 3日	男	68	品出し中、商品が落ちそうになり胸で受け止め、ろっ骨にひび	通院 5日
4月 6日	女	70	自転車で就業途上、乗用車に後ろからはねられ頭部など打撲	通院 4日
4月 22日	女	82	就業途上、下り坂で自転車を降りようとして転倒し骨盤にひび	入院22日
4月 26日	女	66	自転車で広報配布中、乗用車を避けようとして転倒、肩を痛める	通院 8日
5月 5日	男	68	就業先で大型台車を操作中、右足に力がかかり太もも肉離れ	通院
6月 14日	男	68	展示車の洗車で、ステップ部分を拭いていて、ぎっくり腰に	通院18日
6月 23日	男	68	小雨の中、ゴルフコース整備中にバイクで転倒し右脇腹打撲	通院14日
7月 10日	男	63	清掃業務で、塩ビ板を踏んで滑り転倒、右手首などを打撲	通院 7日
8月 3日	男	67	施設管理の業務中、電気コードにつまずき転倒、左足小指骨にひび	通院 4日
8月 18日	男	69	土手の除草中、壁の上で足を踏み外してずり落ち、脇腹など打撲	通院21日
8月 23日	男	66	清掃作業中、使用していたカッターで誤って左手の2指を切傷	通院 4日
8月 25日	女	66	休憩時間に、階段で左足首を捻挫	通院31日
8月 30日	男	69	就業後、バイクで帰宅途上、自転車と接触し転倒、右足首を骨折	入院29日
10月 12日	男	74	自転車で就業途上、乗用車に衝突され右肩打撲	通院

物損事故＝計8件

* 右端の金額は賠償額の概数

5月 17日	男	68	植木手入れ中、別の樹木に養生のシートを掛け枯死させた	植え替え
7月 20日	男	72	剪定のツツジを刈り込み過ぎた	40 万円
7月 22日	男	75	張り替えた襖を納品した際、裏側のクロス張りに傷や破れ	6,000 円
8月 10日	男	77	清掃業務の台車で、床置き扇風機を引っ掛けて倒し破損	1万円
9月 29日	男	64	剪定中の桜の枝がインターホンのカバーに当たり破損	6,000 円
10月 23日	男	67	除草作業の刈り払い機で、エアコンの室外機配管を切断	5万円
11月 24日	男	71	障子の張り替え中、障子をぶつけて天井を損傷	4万円
3月 14日	男	68	マンション共用部分の蛍光灯カバーを落として破損	--

浜松SCと交流

内容濃く役員研修

2月22日(火)、23日(水)の両日、センター役員など41名が参加して視察研修が行われました。

午前8時の出発早々、バス車内で研修開始。各部会・委員会からの活動報告、全員が自己紹介を兼ねてセンターへの意見・提言を発表しました。

午後は浜松市シルバー人材センターを訪問。浜松の鈴木孝史常務理事から活動状況の説明を受け、未就業者への対応やエンゼルヘルパー、訪問介護、150名いる植木職の課題などについて質疑応答。結婚相談所を運営しているとの話には一同びっくりしました。



宿泊先までの車内では森澤弘理事長が、TV番組で紹介された五つの会社の業績を例に、組織が成功するには何が必要かを解説しました。

研修2日目も、帰途の車内では、森田勝治事務局長が、参加者の意見に対して懇切な説明をし、センターの方向性を示しました。(阪口)

上田地域センター来訪

広報活動など意見交換

長野県の上田地域シルバー人材センターの吉原孝則広報委員長をはじめとする役員など10名が3月4日(金)午前、当センターを訪れ、広報活動を中心に意見交換しました。

上田SCは上田市など4市町村をエリアに会員数2100名余。年間契約高11億円で、4月には新公益法人に移行しました。

事前に寄せられた質問事項を元に広報紙発行までの編集作業、配布方法、読者へのアンケート、作成費用などについて活発に議論。上田SCでは、年7回だったのを4月からは毎月発行にする計画とのことで、印刷コストなど当センター広報部会にとって刺激的な交流となりました。

安全就業の取り組みや植木職の15級システム、独自事業、新公益法人認定に伴う問題点なども森澤弘理事長を交えて話し合いました。

上田SCへは2年前に当センターが研修に伺ったこともあり、今回が縁にさらに交流を深めることを約束しました。(阪口)

奮闘する開拓員

世の中は春ですが、雇用環境は依然、厳しいままです。当センターへの求人もなかなか増えない中、就業開拓員にスポットを当てて、就業をめぐる現状を報告します。

(長谷川)

回復遅い求人数

就業開拓員の正式名称は、就業機会開拓創出員。森澤弘理事長も5年あまりの経験があります。今は今井勇さん、福田清志さん、岡田照正さん、それに女性の鈴木艶子さんの4名が担当しています。

「求人がガタツと減ったのは平成20(2008)年のリーマンショックから。最近の求人傾向は、工場の軽作業、駐車場・駐輪場の管理、清掃、老人施設の宿直それに個人家庭のお手伝いなどですね。事務はほとんどありません」と語る今井さん。

就業の今

会員の相談にのったり、新しい就業先を求めて会社などへ出向いたりもします。今井さんは2月のある日、清掃の職についている女性会員の飛び込み訪問を受け、いろいろ相談にのっていました。



就業相談に55名

定例の就業相談日は、毎週水曜日の午後2時から3時30分まで。事務室隣の会議室で行われます。2月9日の就業相談の参加者は55名。毎回来ている人もいて「この仕事を」と、希望の業種を絞っているようです。この日の募集件数は、民間・公共など種々雑多で家事3件を含め22件。2件は67歳まで、1件は65歳で終了という条件付きでした。

男性会員に聞いてみました。

「もう何回も来ていますが、厳しいですね。前の職場が総務関係でしたので事務系を狙っているのですが、頭を切り変えないと。それにしても

早く高齢者の働き口が増えてほしいですよ」

シルバールの理念は《自主・自立、共働・共助》です。これは会員それぞれが健康で働く意欲を持ち、お互いを尊重しあつて、ワークシェアも取り入れながら、臨時的・短期的な仕事を請負・委任、指定管理、派遣などの形で共に働き、助け合うことです。この理念を生かせるよう、会員皆さんが、希望する仕事に就けるのが理想的なのですが……。

訪問記 53



新しい駐輪場業務

順調な出足にホッ

西友小手指店

フロアの飾り付けが一新された西友小手指店。入り口の乱雑な自転車もすっかり消えました。ここを整理

し、駐輪場を運営しているのがサイカパーキング株式会社。1月31日から会員6名が、朝8時から2時間、交代で就業しています。

3月2日の朝、就業開拓員の今井勇さんと訪問しました。開拓員の仕事の一つに、実際に会員が働いている現場を訪問し仕事ぶりを見たり、仕事先との情報交換があります。この日、担当していたのは佐野正司さん(小手指)。既に4カ所ある駐輪場を点検に回っていました。

佐野さんは「以前の駐輪の惨憺たる状況が、今はきれいに整理され、市民の方からも喜ばれています。ここは自転車584台、バイクが27台止められますが、たまには寸止めと言って、ラックの奥まで自転車を入れないで料金をごまかす人もいます。見つけたらすぐに直し、常習者には通告書も貼り付けます。お客さんへのあいさつや言葉遣いなど、十分に気をつけています」。

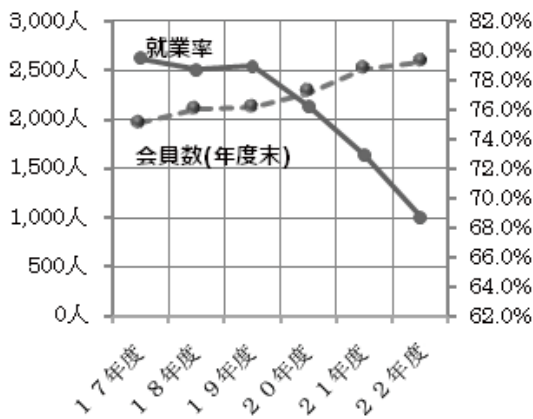
訪問した今井さんも、新しい就業先が順調で、ホッとしたようです。



会員数は右肩上がり 右肩下がりの就業率

会員数は年々増加し、平成23年度には、当面の目標とする2600名を超え、順調に推移しています。一方、平成20年度を境に、求人数・契約金額の急激な減少にともない、会員の就業率・就業日数も急降下しています。

今後とも一層厳しい雇用環境が続くと予想され、求人数の増加も難しい状況です。発注者からの期待や要求度を確認し、会員の要望にあった就業機会の、さらなる開拓が期待されます。(田中)



最高の技に磨き

植木職5級講習会

老人憩の家「さくら荘」で2月24日(木)、植木職の最高クラス5級の13名とサポーター11名を対象に、四つ目垣の技能向上と指導方法の研修を開催。講師は渡辺政満さんです。参加者の感想は……。

楽しさ改めて

3班 満田雄二

四つ目垣を奇麗に仕上げるため、竹の並べ方、結び方などのデザインと技術を学びました。植木職7年目になります。今回受講して、この職の楽しさを改めて感じています。お客様の要望に応えられるよう、努力を続けていきたいと思っています。

絡み結びの実技も

2班 彼ノ矢蔵

担当区画を定め、緊張の作業。講師のチェックを受けながらも、制限時間内に完成！さすが5級の腕は「さくら荘」に良く合った垣根を仕上げました。花見には垣根も見て下さい。高度な絡み結びの実技もありサポーターの私には、実作業に結びつく研修でした。(阪口)

お客様の要望に応えるために!!



求められる力と知識

子育て支援講習会

「子育て支援講習会」は2月25日(金)、28日(月)の2日間、当センターで開かれました。講師は東京リールガルマインドの笹井厚子さん。男性4名、女性16名が受講しました。

講習内容は盛りだくさんでしたが保育所、児童クラブなど施設内での支援がほとんどでした。需要は、個人からの委任による支援、家庭での見守り留守番や、登園・登校・塾の送迎など多岐にわたると思います。支援の在り方について、講習の内容から、抜粋してみました。

保護者に対して

(事故時のリスク回避のために)

- ・子供を預かるときは、必ず視診をして傷がないか、顔色は良いかなどを診て「けがをしたのですか」、「顔色が悪いようですね、何かありましたらご連絡しますね」と、異常が有る事に気付いてもらう。
- ・普段から良いコミュニケーションをとっておく。

子供に対して

- ・支援者の考えを押しつけず、子供の意見を素直に聴く(傾聴する)。
- ・しつけとして一方的に言わない。
- ・子供自身に考えさせ行動させる。
- ・育つ力、生きる力を引き出す。
- ・遊びの中にも危険が潜んでいることを子供自身に気付かせる。
- ・支援者は言葉遣いに注意する。
- ・怒らない叱り方を身につける。
- ・否定的な言葉(だめ、おそい)などはNG、褒めてやる気にさせる。



4時間プロジェクターを見つめっぱなしの2日間でした。(志賀)

みんなの広場

脳も身体もリフレッシュ

「挑戦」始めましょ

川野 永子(中央)

何年前か、私は介護施設を見学しました。入所している方は清潔な環境の中、考えられた栄養の食事を提供され、何の不自由もなく生活しているようにみえました。

しかし楽しい食事、口に入る物は無意識に飲み込み、愛する家族さえ分からないようでした。自宅に帰りたいという方も、施設を一回りして、いろいろ理由をつけ「明日にしよう」と部屋に戻されていました。でも不思議に昔覚えた曲は、どの曲もすらすら歌っていました。

私は、M・フーバの言葉「人間というのは新しいことを始めることさえ忘れなければ、老いるものではない」を信じ、今からでも新しいことに挑戦してみようと思います。

皆さんは、どのような分野に興味を持ち、チャレンジしてみたいのでしょうか？

私は英語と中国語の歌が少しでもあります。楽器の練習をするように、皆

さんも一緒に歌に挑戦しませんか。そして、歌った後は太極拳。アメリカ・ニューヨークの広場で見た、初心者からベテランまでの、独特の演武。脳も身体もリフレッシュできること、間違いありません。

ボランティアで支える

「畑で婚カツ」

竹下 保(小手指)

私が会員になっている「トコトコ農園」は、農業支援目的で設立されたNPO法人「がんばれ農業者」が管理運営している体験農園です。



みんなで収穫作業



楽しい食事作り

人たちに農業をPRする目的で企画したイベントです。

参加者は野菜の種まきや収穫を行い、男女ペアで昼食を作ったり、緑豊かな自然の中で健康的な活動します。お互い打ち解けたところで最後に気に入った相手の名前を「お気に入りカード」に書き入れてもらいます。昨年は4回イベントを行いました。昨年は4回イベントを行いました。昨年は4回イベントを行いました。昨年は4回イベントを行いました。昨年は4回イベントを行いました。

「無縁社会」が広がる時代に「農業」を通して健康的な「出会い」が出来るのはとても意義深いことだと思っています。今年も「畑で婚カツ」を実施する予定です。

来るのはとても意義深いことだと思っています。今年も「畑で婚カツ」を実施する予定です。

会員の皆さんのお身内、

お知らせい

参加を希望される方はトコトコ農園のホームページへ。

(<http://www.ganbare-nongyoujin.org/>)

子供たちからパワーを

亀井 克敏(中央)

少年野球チームのコーチとしてお手伝いをして30年。少年野球チームと言っても、幼稚園の年中さんから小学2年生で構成されたチームです。クラブやバットは持っています。

ユニホームもなく、服装は自由です。子供たちが目で見て、それが脳に伝わり、脳が出した指令通りに身体が動くことを目指して、いろいろな「遊び」を取り入れています。また

野球を楽しんでくれるようにメニューもいろいろと工夫しています。無邪気で元気な子供たちと一緒に走り回っていると、自然と私も年齢以上に元気が出てきます。子供たちから若く新鮮なエネルギーをたくさん、もらっているからだと思います。

気力充実が大切な植木職の私が、日々元気に働ける源となっていると思います。

家内が「年寄りがいままでいると迷惑よ」と言いますが、あと2、3年は頑張つて、幼子たちのたくましく成長する姿を楽しみながら、自分の健康維持にも取り組んでいきたいと思うこの頃です。



サークル訪問⑤

運動も食欲も！

さわやか体操サークル

入間郡毛呂山町にある、餅つき民宿として有名な「啓明荘」への『餅つきハイキング』が1月にあり、一緒にしました。

早朝の寒さをものともせず、生きいきとした会員8名が集合。西武池袋線武蔵横手駅で下車し、途中少し岩場を歩き五常の滝を見物、談笑しながらのハイキングは、疲れも感じることなく1時間ほどで目的地に着。餅つき大会の始まりです。

か弱き？参加者ばかりで、餅つきは宿のご主人にお願い。湯気のあがったホカホカのお餅を、童心にかえってまるめ、きなこ・あんこ・おろし大根などをつけ頬張りました。つ

《わが街クリーン作戦》

第6回清掃ボランティアを航空記念公園で実施します。各地区や、サークル、就業先の仲間を声をかけ、ぜひご参加ください。

日時 6月10日(金) 午前9時

集合 航空公園管理事務所前

(野球場の北側)

申し込みは悠和会事務局

(電話2928-8695)



きたてのお餅はいくつでも、おなかに入ります。運動と食欲を満たす楽しい一日となりました。

この会はスタートして3年余り。時期に合わせ体操、歩行、旅行、四季

折々の花見など、月ごとに次の計画を出し合って楽しんでいきます。会員は現在11名。入会ご希望の方は悠和会事務局までご連絡ください。

(測)

健康一口メモ

13

血管を若々しく

コレステロールを制御

悪玉コレステロール(LDL)が増えると、血管の内側にこびりつくプラークというアカができて血液の流れを悪くします。血管の壁を硬くもろくし、血管を詰まらせる原因になります。基準値は血液100cc当たり140ミリグラム未満です。

一方、善玉コレステロール(HDL)の数値は同じく40ミリグラム以上、中性脂肪は男女差がありますが150ミリグラム未満が正常値とされており、バランスが大事です。

生活習慣を見直すことで善玉を増やし、血管を若返らせることが出来ます！ 自分の力で大丈夫！ 増やせます！

＊毎日歩く 30分位

＊できればスロージョキングも

— などの有酸素運動を行う。

＊肉食(動物性油)を少なめに

＊青魚と青緑色野菜・食物繊維・

豆腐類を取る

そして、腹八分目が長生きの極意。高齢者と言われても、血管は若々しくありたいですね。

(高柳)

東日本大震災に支援を

シルバー事務局に
募金箱置きました

1万人を超す死者、2万人に迫る行方不明者——。3月11日に発生した東日本大震災は想像を絶する被害をもたらしました。会員の皆さんの中にも、ご親族や知人が被災された方がおられるかもしれません。

未曾有の災害に、心からのお見舞いを申し上げるとともに、当シルバーも支援の輪を広げようと、まず事務局のカウンターに募金箱

を置きました。全国シルバー人材センター事業協会を通して被災地に送ります。既に、支援の行動を起こしている方も多いと思いますが、事務局を訪れた際などに、ご協力下さい。

所沢市は、被災避難者の受け入れをスタートしました。シルバーとしても、支援・復興に何ができるか。これからも、会員皆さんと考えていきます。

みなさん!!

下山口駅自転車駐車場を ご利用ください

所沢市から、下山口自転車駐車場の業務を、指定管理者として受託しました。

平成23年4月から、
所沢市シルバー人材センターが
管理運営をしています。

皆様に快適に利用していただける
環境づくりを進めています。

豆宣伝

シルバー人材の豊富な経験と技術を
ご活用ください。



お任せください



植木剪定、ふすま・障子・網戸張り替え
福祉・家事援助サービス、屋内外の清掃作業
一般事務、経理事務、外交・折衝・集金事務
筆耕(毛筆・硬筆)、看板(レタリング)
書類・はがきなどパソコン入力、その他ご相談

会員コーナー(サロン)

事務室となり

悠和会では情報交換の場として活用いただけますよう、コーナーの模様替えをしていきます。

健康相談日

健康で、元気に就労していただくため、健康相談を行っております。

場所 センター・2階会議室
日時 5月19日(木) 午前中
6月16日(木) 午前中
7月21日(木) 午前中

就業相談日

毎週水曜日 午後2時～3時半
場所 センター・2階会議室
就業相談を行っております。

あなたにふさわしい就業先を見つけてください。

*あとかき

東日本大震災の惨状から立ち上がるべく懸命な被災者。支援し元気づけようと汗を流し、心を寄せる人々の上にも福島第一原発の放射能漏れが追い討ちをかけ、暗雲が立ち込めています。野菜、水の汚染、乳幼児の健康が心配されています。時間がかかるかも知れませんが、みんなの力で、身近にできることで、被災地を励ましていきたいものです。

(広報部会)

投稿をお待ちしております。ご意見、感想文、短歌、川柳他(400字以内。地区名、氏名を明記)作品は不返。広報部で編集することもあります。また掲載できない場合もあります。ご了承下さい。